

第6章

スタートアップ事業

本ビジョンに係わる新規事業の中で、平成26年度から実施する事業を「スタートアップ事業」として位置づけ、事業内容に関する目的や実施体制、実施内容について整理します。

スタートアップ事業は下記のとおりです。

■スタートアップ事業一覧

- 産業振興推進事業
- 中小企業サポート事業
- 農商工観ポータルサイト構築事業
- 体験農園推進事業

(1) 産業振興推進事業

施策区分	<p>【基本方針】既存の産業のバージョンアップ、新たな交流・連携の推進</p> <p>【施策項目】振興基盤の整備、多様な交流・連携基盤の整備と強化</p>
目的	「上尾市産業振興ビジョン」の実現に向け、基本方針に基づく施策を実施するにあたり、国内外の経済状況や社会情勢の変化、国・県の施策動向などをふまえ、時代の流れに即した施策の展開を図るため、市内産業振興について検討・提言を行う「(仮)産業振興会議」を設置する。
事業主体	上尾市
実施体制	学識経験者、産業関連団体など、事業者、行政、市民で構成された組織（「上尾市産業振興ビジョン策定委員会」の構成に準ずる）
事業内容	<p>「上尾市産業振興ビジョン」の実現に向けた産業振興方策について、各年度におけるテーマについて検討及び提言を行う。この提言を受け、各施策の実施主体は、施策の実施に向けた取り組みを推進する。</p> <p>【テーマ例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携について（6次産業化に向けた展開について） ・地域資源の発掘及び育成について ・情報発信のあり方について ・地域社会との連携について <p style="text-align: right;">など</p>
成果	業種の異なる主体が連携して、様々な産業振興方策について検討することにより、市内産業の一体感を図るとともに、より具体的かつ主体的な事業の実施につながる。

(2) 中小企業サポート事業

施策区分	【基本方針】 既存の産業のバージョンアップ 【施策項目】 経営・技術支援
目的	中小企業支援に対する専門的な知識と経験を有するコーディネーターを通じて、中小企業が抱える課題の解決に向けたサポートを行い、市内事業者の自立性と競争性を高め、地域産業の発展に寄与する。
事業主体	上尾市
実施体制	市商工課で「中小企業コーディネーター」を配置 (各市内産業関連団体や中小企業支援機関と連携)
事業内容	○企業訪問による情報収集（課題やニーズの把握） ○公的支援（補助金など）施策活用の支援 ○経営全般の相談、販路拡大、技術支援 ○企業間・産学官連携支援 ○人材育成支援 ○関係各機関や団体などとの連携支援 ○その他中小企業支援に必要な事業 など
成果	市内にある中小企業全体を対象とし、各企業の課題やニーズに合わせた支援を行うことにより、関係各者の相互理解と相互協力が図れる。また、様々な支援を通して、経営改善や技術向上を図り、事業拡大や新規産業の創出が期待できる。

(3) 農商工観ポータルサイト構築事業

施策区分	【基本方針】 既存の産業のバージョンアップ、新たな交流・連携の推進 【施策項目】 振興基盤の整備、多様な交流・連携基盤の整備と強化
目的	市民が気軽に利用できる上尾市独自の農・商・工・観の総合サイトを創設し、市内の農家や企業の情報を集約・発信することにより、市内消費の拡大と市内外との取引拡大を推進する。
事業主体	上尾市
実施体制	・市商工課で運営管理 ・市内農家や商工業者が主体となった情報の掲載及び更新 (上尾商工会議所、上尾市観光協会、上尾市農産物直売組合などと連携)
事業内容	○市内商工業者・農家の企業（生産者）情報の提供 ○商品・製造品・農産物のPR ○SNSを活用したコミュニティ交流の場の提供 など
成果	市内企業と市民をつなぐ情報基盤を整備することを通して、市内及び周辺地域からの購買や交流の機会を創出するとともに、消費者たる市民の意見を取り入れ、ニーズに対応した商品の提供を図ることで、地域活性化につながる。

(4) 体験農園推進事業

施策区分	<p>【基本方針】 既存の産業のバージョンアップ</p> <p>【施策項目】 振興基盤の整備</p>
目的	<p>体験農園を開設する農業者に対し、利用者募集の支援や補助金の交付により開設支援を行い、体験農園の開設を推進することで、市民への農業体験の機会を確保する。</p>
事業主体	<p>上尾市</p>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・市農政課 ・市内農業者 ・関係機関、農業団体、市民団体と連携
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○体験農園の啓発活動 ○体験農園開設時の施設補助 ○広報やポータルサイト活用による利用者募集 など
成果	<p>利用者が定着することで、安定した農業経営としての新たなビジネスモデルを確立するとともに、市民への農業体験の機会を拡大することで、農業従事者の増加や新たなコミュニティの構築を図る。また、農地の利用を促進することで、市内の農業景観・農地保全に資することができる。</p>